

会 議 録		令和7年2月14日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府右京警察署協議会（令和6年度第4回）		
開催日	令和7年2月13日（木曜日）		
時 間	午後3時から午後5時までの間（120分）		
場 所	京都府右京警察署		
出席者	大江会長、松岡副会長、朝尾委員、荒木委員、臼井委員、梶原委員、田中委員、寺町委員、西脇員、樋口委員、渡邊委員 （欠席 上田委員、内藤委員） 計11人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	令和6年中の回顧と令和7年の展望について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長		
	2 署長挨拶		
会 議 内 容	3 協議		
	諮問事項説明		
	令和6年の回顧と令和7年の展望について～各課長 司会 副会長		
	【委員】犯罪被害者支援の話が出たが、令和6年中、右京区役所が入るサンサ右京にて「命のメッセージ展」を開催することができた。今後もサンサ右京を会場として開催し、犯罪被害者支援の活動に役立てていただければと思っている。		
	【委員】警察官の採用の話が出たが、私はJRグループの鉄道会社の総務担当として採用業務を担当しており、売り手市場と言われる昨今、優秀な人材の採用の難しさを感じている。右京警察署では採用について特別な取組を行っておられるのか、あれば御教示願いたい。		
【警察】委員御指摘のとおり、今の若者に公務員を志望する者が少ない中、警察においても厳しい状況にある。警察では、採用時に筆記試験があることから、警察官を志す志望者には、希望があれば「どのような勉強をすればよいか。」 「どんな試験なのか。」など、個別に案内や試験の対応要領などについてアドバイスをを行っている。			
【委員】最近、「玄関の門扉などに小石が置かれている」というニュースを見た。右			

京警察署にもそういった通報はあるのか。

【警察】複数、聞いている。

小石が置かれているというのは、昔からあったことかも知れないし、また、今、なぜ置かれているのかは判然としない。しかしながら「トクリュウ」いわゆる匿名・流動型犯罪グループが強盗目的で住宅に押し入る事件などが発生しており、住民が敏感になっているのかもしれない。逆にちょっとしたことを気に掛けていただき、「いつもと違うな。しっかりと戸締まりをしなければいけない。」と書いていただくことは、防犯上、良い兆候かとも考える。

【委員】私は京北地区に住んでいるが、京北地区には交番が1つと駐在所が4つあり、広大なエリアを担当してもらっている。そうした中、警察官はよく巡回連絡で各お宅を回っていただいている。担当するエリアが広いがゆえに御苦労なことだと思っている。これからも、よろしくお願ひしたい。

【委員】地域課の仕事の中には、私が勤務する鉄道会社との連携や、鉄道における人身事故の取り扱いなどもお世話になっている。

そうした中、地域課に所属する交番・駐在所の警察官は一番に現場へ行って措置を行い、また、何かあればまずは地域警察官が対応されるということをお聞きした。見えないところの努力について、我々は分かりづらいところがあるが、地域の安全・安心につながっており、これからもよろしくお願ひしたい。

【委員】私は、大学に勤務しているが、大学にも薬物が蔓延していると聞くが、現状はいかが。

【警察】薬物事犯対策、薬物の乱用防止ということで、令和6年中の麻薬、大麻などの乱用者の検挙人員を話させていただいたが、委員御指摘のとおり、薬物乱用者の低年齢化が進んでいる。今は大学もさることながら、高校などの若年層に大麻乱用者が増加している。

また、覚醒剤もさることながら、大麻乱用者が増加している。大麻は覚醒剤よりも安価であり、手に入りやすい薬物でありハードルが低いと思われ、そのため増加していると考えられる。加えて、大麻は薬物乱用の入口であり、大麻から覚醒剤へとより刺激を求めて強い薬物に依存することも考えられる。

【警察】昨年は、少年4人を大麻取締法違反で検挙したこともあり、低年齢化しているのは間違いなく、大学はもとより高校においても薬物の怖さを知ってもらうための啓発活動を行っている。

【委員】防犯機能付き電話の普及についてお伺ひしたい。

話の中で、特殊詐欺対策として、防犯機能付き電話を使用するよう積極的に広報されていると言われたが、どれくらい普及しているのか。

【警察】普及率と言われると、個人で購入して設置されている方もおられるので、普及率が何パーセントかということまで把握はできていない。

一方で、特殊詐欺のとっかかりとなる警察官や銀行員などをかたる電話というのは固定電話にかかってくるものが多く、録音機能や着信拒否機能を持

会 議
内 容

つ電話機というのは有効である。街頭啓発などの場で「家電を防犯機能付き電話に」と呼び掛けている。また、暴力追放対策協議会の支援を受け、防犯機能付き電話を購入して申請していただいた方には購入費の一部を補助している。さらに、警察では貸出し用の防犯機能付き電話を数台保有しており、希望者には一定期間貸出しを行い、試していただいた上で、購入していただくという施策も推進している。

【委員】先般の大雪で京都縦貫道と国道9号の老坂峠が通行止めとなった関係で、京都市から亀岡市への抜け道として京都府道50号線が大渋滞を起こしていた。私も京都府道50号線の先に自宅があることから、帰宅しようと走っていたが、いつも30分程度で行けるところが、除雪はされているものの、離合時に側溝に落ちる車などがあり、約2時間かかった。京都府道50号線は生活道路でもあるが、国道9号と同じように警察として通行止めの措置はできないのか。

会 議
内 容

【警察】先般の雪では京都縦貫道と国道9号は大雪を見越して計画的に通行止めの措置がなされていたと思うが、委員御指摘の府道などに対して警察が通行止めとする規制は難しい。最終的には道路管理者による措置となるので、今後、同様のことがあれば、道路管理者と連携して対応したい。

【委員】車の安全装備などの性能が向上しており、交通事故も減っているようだが、無くならないのはどのような原因が考えられるのか。

【警察】確かに今の車は危険を感知すると警告音などで危険を知らせたり、ブレーキを掛けたりして事故を回避できるよう性能が向上している。しかし、交通事故が無くならないのは、資料で示しているとおり、その他の道路ということで、住宅街の道路で起こっていることが多い。自宅を出て直ぐや、もうすぐ自宅という時に起こっているのではないかと考える。また、せまい道路で路地からの飛び出しなども考えられる。車の安全装備を過信せず、より慎重に安全運転を行っていただきたい。

4 副署長挨拶

5 署長挨拶

以上

第4回京都府右京警察署協議会の開催状況

